



国内における高病原性鳥インフルエンザの発生について

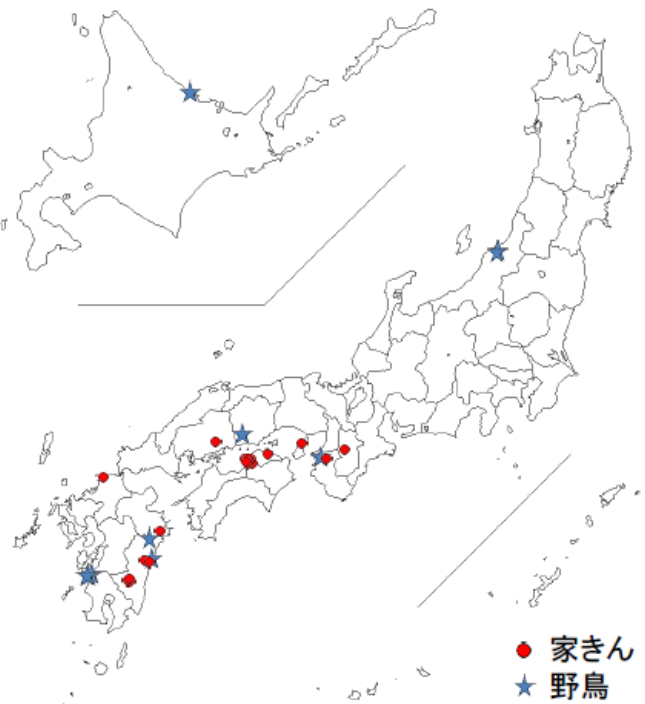
先月号において、2年10ヶ月ぶりに国内において高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）が発生したことをお伝えしましたが、その後も発生が相次いでおり、この1ヶ月の間に、香川県で10事例、兵庫県で1事例、福岡県で1事例、宮崎県で5事例、奈良県で1事例、広島県で1事例、大分県で1事例、和歌山県で1事例、岡山県で1事例が確認され、疫学関連9農場を含む31農場の300万羽超について防疫措置が講じられています。（12月11日現在）

過去にHPAIが最も確認された平成22年で24農場、約183万羽の防疫措置であったことから、今年度は既に殺処分羽数は過去最多となっており、過去最大規模の発生で、いつどこで起きてもおかしくない状況です。

令和2年度 国内における高病原性鳥インフルエンザ発生状況 (令和2年12月10日時点)

家きん 8県21事例

事例	都道府県	市町村	疑似患者判定日	飼養状況	病原性	亜型
1	香川県	三豊市	R2.11.5	採卵鶏約31.7万羽	高	H5N8
2	香川県	東かがわ市	R2.11.8	採卵鶏約4.6万羽	高	H5N8
3	香川県	三豊市	R2.11.11	肉用種鶏約1.1万羽	高	H5N8
4	香川県	三豊市	R2.11.13	肉用種鶏約1万羽	高	H5N8
5	香川県	三豊市	R2.11.15	採卵鶏約7.7万羽	高	H5N8
6	香川県	三豊市	R2.11.20	採卵鶏約15.4万羽	高	H5N8
6	香川県	三豊市	R2.11.20	採卵鶏約11.7万羽	-	-
6	香川県	三豊市	R2.11.20	採卵鶏約2万羽	-	-
6	香川県	三豊市	R2.11.20	肉用鶏約5.7万羽	-	-
6	香川県	三豊市	R2.11.20	肉用鶏約1.7万羽	-	-
7	香川県	三豊市	R2.11.20	採卵鶏約43.9万羽	高	H5N8
8	香川県	三豊市	R2.11.21	採卵鶏約7.5万羽	高	H5N8
9	福岡県	宗像市	R2.11.25	肉用鶏約9.2万羽	高	H5N8
10	兵庫県	淡路市	R2.11.25	採卵鶏約14.5万羽	高	H5N8
11	宮崎県	日向市	R2.12.1	肉用鶏約4万羽	高	H5N8
12	宮崎県	都農町	R2.12.2	肉用鶏約3万羽	高	H5N8
13	香川県	三豊市	R2.12.2	採卵鶏約22.8万羽	高	H5N8
13	香川県	三豊市	R2.12.2	採卵鶏約12.5万羽	-	-
14	香川県	三豊市	R2.12.2	採卵鶏約2万羽	高	H5N8
15	宮崎県	都城市	R2.12.3	肉用鶏約3.6万羽	高	H5N8
16	奈良県	五條市	R2.12.6	採卵鶏約8.3万羽	高	H5N8
17	広島県	三原市	R2.12.7	採卵鶏約8.1万羽	高	H5N8
17	広島県	三原市	R2.12.7	採卵鶏約5.3万羽	-	-
18	宮崎県	都城市	R2.12.7	肉用鶏約6万羽	高	H5N8
19	宮崎県	小林市	R2.12.8	肉用鶏約4.3万羽	高	H5N8
20	大分県	佐伯市	R2.12.10	肉用鶏約1.4万羽	検査中	H5
20	大分県	佐伯市	R2.12.10	肉用鶏約2.4万羽	-	-
20	大分県	佐伯市	R2.12.10	肉用鶏約1.8万羽	-	-
21	和歌山県	紀の川市	R2.12.10	採卵鶏約6.7万羽	検査中	H5



野鳥 6道県12事例(H5N8) ・月日は検体回収日

北海道紋別市糞便(10/24)、鹿児島県出水市環境試料(水)(11/9,16,23,30)・糞便(11/5)、新潟県阿賀野市環境試料(水)(11/16)・糞便(11/16)、和歌山県和歌山市死亡野鳥(12/3)、岡山県矢掛町死亡野鳥(12/4)、宮崎県延岡市糞便(11/30)・都農町糞便(11/30)

死亡野鳥や野鳥糞便及び野鳥のいる環境(水)からのHPAIウイルス遺伝子の検出も相次いでおり、環境中のウイルス量も過去最大となっていると推測されます。養鶏農家におかれましては、野生動物対策をはじめ、畜舎では専用の作業着及び長靴を適切に着用し、鶏舎内へHPAIウイルスを持ち込まないよう、最大限の対応をお願いいたします。また、飼養する家きんの異状を発見した際には、早期通報の徹底をお願いいたします。

※22例目(岡山県美作市)については、上記図(12月10日時点)には反映されていません。

緊急防疫対策会議の開催

令和2年11月25日における福岡県での発生を受け、熊本県家畜伝染病対策要綱に基づき、防疫態勢レベル2とするとともに、11月26日には、管内養鶏農家、市町村、畜産団体等を参集し、当所において緊急防疫対策会議を開催しました。本会議では、福岡県での事例、同日発生である兵庫県の実例、県の対応等について説明しました。

人吉・球磨地域は、平成26年に県内初となるHPAIの発生を経験してはいますが、今年度は、新型コロナウイルス、令和2年7月豪雨災害等の対応が山積しており、万が一、管内で発生した際は、非常に大変な対応を強いられることが想定されます。

当所は、管内の家畜防疫を担う機関として、家畜伝染病発生防止に尽力する所存ですが、関係各位におかれましては、発生時の体制の確認等の万が一に備えた準備をよろしくお願いいたします。



近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地(国)	畜種	発生年月日
高病原性 鳥インフルエンザ	H5N8	韓国(1件)	家禽	令和2年(2020年)11月27日
	H5N8 H5N5	ロシア(6件)	家禽	令和2年(2020年)8月13日~9月13日
	H5N5	台湾(4件)	地鶏	令和2年(2020年)11月16日~11月26日
アフリカ豚熱 (ASF)		韓国(62件)	野生イノシシ	令和2年(2020年)10月8日~11月26日
		ロシア(19件)	豚・野生イノシシ	令和2年(2020年)10月21日~11月25日
		中国(1件)	豚	令和2年(2020年)10月22日
		ウクライナ(4件)	豚	令和2年(2020年)10月29日~11月27日

令和2年(2020年)12月1日現在

編集後記

管内でHPAIが発生した時、私は入庁1年目、配属2日目という右も左もわからぬ状況、正直、戦力にはなれなかったです。あれから6年、南関町での防疫対応にも携わり、ある程度の戦力には成長したのかなと思います。後は、この力を発揮する場が訪れないことを祈るのみ。家畜伝染病については、“備えあっても憂いあり”、なるべく憂いが少なくなるよう、できることを頑張ります。(F.T)